

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 26年3月24日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	生活環境対策事業			コード	73101	
2 担当部課	部等	市民環境部	課等	環境課	作成者	高橋 克実
3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち			
		政策	環境保全の推進	施策	生活環境対策の推進	
		予算科目	生活環境対策事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	あり（義務的・標準的事业）	国県補助	なし	
		根拠法令	振動規制法 騒音規制法 岡谷市公害防止条例 等			

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	自動車騒音常時監視測定業務、不法投棄物のパトロール、公害苦情への対応、河川水質調査、地下水調査を行い、市民生活の環境を維持改善する。		
目的	対象者	市民	
	意図	市民の生活環境が、自動車騒音や不法投棄などにより、汚染されないよう、より良い環境の下で生活が送れるようにする。	

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<ul style="list-style-type: none"> ○生活環境苦情処理 <ul style="list-style-type: none"> ・騒音、振動等の届出の受理や苦情への対応をした。 ○不法投棄への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・警察等と連携し、投棄者の調査や回収を行うとともに、パトロールを実施した。 ○自動車騒音常時監視 <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省の道路センサスに従い、1路線2センサスの測量、面的評価を実施した。 ○環境モニター <ul style="list-style-type: none"> ・市民公募の環境モニターにより、環境保全に関する情報の収集に努めた。 		
前年度の課題への対応	・特になし		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)	
① 直接事業費	2,080,622	3,061,800	2,633,576	2,865,000	
経常経費	1,860,122	1,570,800	1,415,576	1,547,000	
臨時的経費	220,500	1,491,000	1,218,000	1,318,000	
* 臨時的経費の説明	国から権限を委譲された自動車騒音常時監視業務の委託料				
② 人件費	4,400,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000	
正規職員の人数(人)	0.55	0.55	0.55	0.55	
③ 合計コスト(①+②)	6,480,622	7,461,800	7,033,576	7,265,000	
前年度比		115.1%	94.3%	103.3%	
財源内訳	6,480,622	7,461,800	7,033,576	7,265,000	
一般財源					
特定財源	0	0	0	0	
* 特定財源の説明	—				
④ コストに関する補足説明					

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
中央道環境対策協議 会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	15,000	10,000	10,000	10,000
美しい環境づくり諏 訪地域推進会議負担 金	件数	1	1	1	1
	金額	20,000	20,000	20,000	20,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	35,000	30,000	30,000	30,000
	割合	1.68%	0.98%	1.14%	1.05%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課 題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) 特になし
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 特になし
改 善 方 法	
改 善 開 始 時 期	

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
----------	--------	--	---